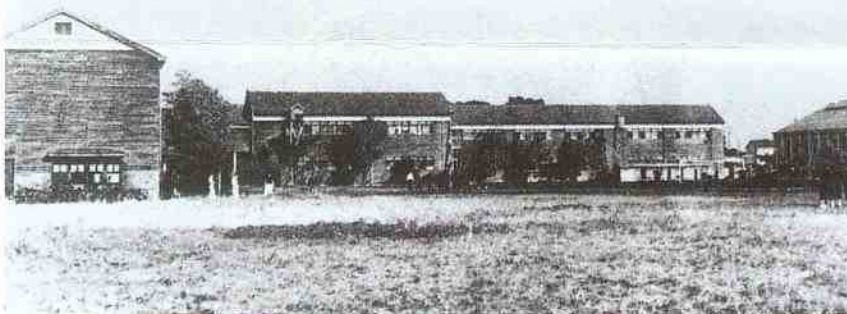




2000年7月撮影



昭和30年撮影・南側より
←2002年5月撮影



本校校舎改築が決定！



石神井高校同窓会誌
「きずな」第51号
平成14年5月発行
発行：
石神井高校同窓会

老朽化が進み、体育館やプールの増改築から取り残された本校校舎群が、来年度からの計画で改築されることになりました。現在の校舎は、F型が特徴とされていた以前の木造校舎から、昭和三十七年から四十四年の六期にかけて改築された鉄筋コンクリート一部四階建てで、厳密には定時食堂と保健室は昭和四十七年に増築されています。

現在の都立高校は、少子化の影響から入学希望者が減る傾向にあり、大がかりな統廃合が進んでいることから、我が石神井高校もその存続が危ぶまれています。今回の改築計画は、平成十四年度から基本設計予算が計上され、十五年度に基本設計、十六・十七年度に建設の見通しです。

とりあえず、母校が統廃合により消滅する可能性は、低くなったといえるでしょう。

黒菱基金の振込用紙を同封しました。

今年は、黒菱山荘基金の振込用紙を同封して「きずな」をお届けします。同窓会費と用紙が別ですので、ご注意ください。

同窓会費の支払いが便利になりました

今回の「きずな51号」の発送に際して、同封される同窓会費の払込書が、従来の郵便振り込み専用の用紙から、コンビニエンスストアで支払いができる形式に変更されました。会費は従来と同じく2,000円です。もちろん、従来同様郵便局でもお振り込みいただけます。振り込み手数料はコンビニでも郵便局でも、別にお支払いいただく必要はありません。同窓会の会費については、お支払いいただく会員数が全体の2割に満たない状態が続いており、一部の方の負担で同窓会の運営が行われているという事実があります。なるべく多くの会員から広く薄い負担で運営することが同窓会活動の理想の姿ではないかと思われまますので、御協力をお願いします。

- ご注意
- *本年より、同窓会費の振込用紙が新しくなりました。郵便局および記載コンビニエンスストアで払い込めますが、金額は2,000円に固定されており変更はできません。
 - *今年度は黒菱基金専用の振込用紙が同封されています。こちらは郵便局でのみ払込ができます。金額は一口1000円から任意の金額を記入してお振り込みください。
 - *今年から振込用紙で住所の変更ができなくなりました。ご面倒ですが、表面記載の宛先に住所変更をお願いします。
 - *40回卒業生のみならず、今年から同窓会費を納入する世代になりました。今年から振込用紙を同封いたしますので、会費(年2,000円)の払い込みをお願いします。

石神井&同窓会 TOPICS

体育祭 2001年6月3日



同窓会総会・懇親会

今年は6/15（土）
本校に於いて開催されます。

詳細は5ページをご覧ください。

第10回東京校歌祭

今年は10/6（土）、日比谷公会堂
集合は13:00頃の予定ですが、
詳細は8月頃決定します。

お問い合わせは、03-3991-3586
副会長高橋自宅 まで



「あこや」

同窓会会長 林 弘

本年、異常気象の模様でしたが、会員各位におかれては御清栄のことと拝察しお慶び申し上げます。



昨年から都立高校をとりまく問題として、統合廃校がありました。幸いなことに母校には平成十四年度に校舎改築の基本設計予算が計上されたことで、学校側の御努力で喜ばしい展開になると存じます。また、本年は「ゆとり教育」問題で「土曜休日」となり学力低下につながらないかと危惧される方が多いようです。「ゆとり」

を掲げていた文部科学省も遠山大臣が発表した「学びのすすめ」は補習や宿題を評価した内容で、既に幾つかの都立高は土曜講習を始めたと報道されています。わが石神井高校もその方向で検討されており、同窓会としても、学校側から講師等の協力依頼があった場合には諸兄弟に御支援、御協力をお願いしたいと思っておりますので、その折はよろしくお願い申し上げます。

昨今気になる事柄がいくつかあり、戦後の教育指導に起因するものと考えられるので、諸兄弟の御意見もいただけたらと思います。教育基本法の前文に「個人の尊厳を重んじ」、第一条に「個人の価値をたつとび」とあり、やもすると个人中心主義と受けとり、放任になり、社会の中の一員であること意識しない風潮から社会の荒廃につながるのではないかと心配します。かつての日本人は道徳の基本として、「仁、義、礼、智、信」の徳目五つ、言うまでもなく「仁愛、慈悲の

心」、「正義、筋を通す」、「礼節を重んじ人を敬う」、「道理、真理を正しく把握する智慧」、「誠、真心、信頼の心」を心掛け、座右の銘にしていた方が多かったと思います。現代社会に定着させたい事柄と思います。

固い話になりましたが、私の母校の小学校長室に掲げてある色紙に
人に接する時は春のように温かい心で、
仕事をする時は夏のように燃える心で、
物を考える時は秋のように澄んだ心で、
己を責める時は冬のように厳しい心で
と書かれており、皆がこのような心で切磋琢磨すれば明るい社会が保たれるのではないかと思います。

会員各位におかれましては、従前にも増して母校発展に寄与していただきたく、御指導、御鞭撻、御協力をお願い申し上げます。

す。体育館は改修工事、格技棟等の体育施設は、部分改修の予定です。現在、校内改築委員会を設立し、準備を整えているところです。また、今年度より学校週五日制がスタートしました。「ゆとり」教育と「学力低下」の間で、土曜週休日などの活用について、都立高校や小・中学校の取り組みがマスコミに取り上げられてきました。本校においては、月曜日から金曜日の授業の充実はいまでもありませんが、進学対応の補習、基礎・基本の充実を図る補習を、英語と数学において計画し、すでに一部開始しております。石神井高校の伝統である文武両道を目指して生徒、教職員が生きていきと過ごせる学校づくりに、教職員一同努力いたしております。今後とも未永くご支援をお願いし、学校の近況報告をもつてご挨拶いたします。

近況報告

石神井高校校長 小林和夫

今年には観測市場最速の桜の開花、五月に入って沖繩の梅雨入りと、天候において急激な変化が生じているようです。天候だけでなく現代の社会もスピードと変化がさらに激増する今日ですが、同窓会員の皆様におかれましては、母校にいつも思いを寄せていただき、感謝を申し上げます。



もうすぐでご承知の通り、平成九年度から始まりました都立高校改

革推進計画の、新しいタイプの学校と整理・統合の第一次計画、続いて特色ある学校・開かれた学校づくりの第二次計画が発表され、順次実施されているところです。さらに今年中に第二次実施計画が発表されることになっています。

本校の統合廃校に関する風評も生じましたが、この度、本校単独での校舎全面改築が正式に決定いたしました。歴代の校長先生はじめ同窓会並びに関係各位に、これまでの地道な努力に対して感謝と御礼を申し上げます。校舎改築計画としては、本年度から約五カ年計画で行われる予定です。

卒業式に参加して

勝見鈴代 (高二十回)

母校の卒業式に、来賓として出席するなんて！

私は、石神井高校を卒業して、すぐ社会人として勤務しましたので、卒業式当日は、これで学生生活が終了仲良しだった友人は殆ど大学や短大、専門学校へと進学していくので、少し寂しく、自分が不安で、友と別れることが悲しくて泣いて校歌を歌った思い出があります。

何十年の間には、世の中がすっかりかわりました。でも、やっぱり「石神井高校だ、この雰囲気は……」と思う卒業式でした。

この時とばかりに、派手な紋付袴の衣装、壇上に駆け上がり肩を組んで歌い、踊る人、卒業証書授与のあと、元気で母校への思いを語る姿は、ちょっと目頭があつくまりました。

どうか、石神井を忘れないで、誇り高き人生を歩んで祈りました。そして、みなさん、ようこそ同窓会へ



3月9日卒業式で同窓会長の祝辞

定期総会開催のお知らせ

同窓会規約第九条にもとづき平成14年度定期総会を下記のとおりに開催しますので、召集いたします。

平成14年4月吉日 同窓会会長 林 弘 記

日時 平成14年6月15日(土) 午後1:00より

場所 母校会議室

- 議事 第一号議案 平成13年度事業報告
- 第二号議案 同上の会計収支決算報告及び会計監査報告
- 第三号議案 役員選任議案
- 第四号議案 平成14年度事業計画案
- 第五号議案 同上の会計予算案
- 第六号議案 規約改定(会計の任期変更)

以上

第1号 議案 平成13年度事業報告

平成13年度(2001年)平成13年4月1日～平成14年3月31日
(平成13年(2001年))

4月 母校入学式に会長が来賓として臨席する。

4月8日(土) 役員会 ☆会計報告と次年度予算案

☆総会の役割分担 ☆黒菱山荘基金

5月 同窓会会報誌「きずな」第50号を発刊し会員に送付する。

6月23日(土) 平成12年度定期総会及び母校の恩師を招いての懇親会を開催する。定期総会議事はすべて原案どおり可決承認される(議案は「きずな」に掲載)。

10月6日(土) 第9回東京校歌祭(日比谷公会堂)にプラスバンド有志を交えて参加する。

<平成14年(2002年)>

3月 母校卒業式に会長が来賓として臨席し祝辞を述べる。

3月10日(日) 会計と本年度会計の決算と監査期日の打ち合わせを行う。

第2号議案 平成13年度会計収支決算報告及び会計監査報告

(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

収入の部	予算案	実績	備考
7. 繰越金	429,709	429,709	
イ. 入会金	1,449,370	1,449,370	290人
ウ. 年会費	3,992,472	4,193,810	2095人
エ. 雑収入	125,000	161,319	コピー機売却
収入合計	5,996,551	6,234,208	
支出の部	本年予算案	本年実績備考	
A. 総会費	700,000	867,328	総会、懇親会
B. 本部費	150,000	292,897	役員会費増
C. 幹事会費	50,000	88,037	幹事会
D. 広報費	1,600,000	1,696,086	きずな印刷代増
E. 発送費	1,950,000	1,878,513	発送部数増 (総数18000部)
F. 行事費	260,000	224,464	校歌祭
G. 山荘費	600,000	600,000	山荘運営
H. 高校援助	150,000	0	部活動等表彰
I. 予備費	536,551	146,475	新卒業生入会祝い
支出合計	5,996,551	5,793,800	
繰越金額		440,408	

上記の通り、平成13年度会計収支を決算し報告いたします。

道家 正昭 印
押切 裕子 印

上記会計収支決算を監査した結果、適正であることを認めます。

川口 弘 印
森 雅夫 印

第3号議案 役員選任議案

(新役員候補者)

企画担当副会長 勝見鈴代(高20回)

★次の役員に変更はありません。

- 会長 林 弘(中2)
- 副会長 城 和弘(高12) 総会担当
- 副会長 高橋一夫(高20) 行事担当
- 副会長 板谷方彦(高27) 広報担当
- 副会長 浦川 伸一(高32) 山荘長
- 書記 佐伯 博敏(中2)
- 書記 榛葉祥子(高7)
- 幹事長 大久保 利一(高17)
- 副幹事長 成富 嶺男(高6)
- 副幹事長 吉岡幸子(高12)
- 会計 道家正昭(高21)
- 会計 押切裕子(高27)
- 会計監査 川口 弘(高4)
- 会計監査 森 雅夫(高8)

第4号議案 平成14年度事業計画(案)

◎例年どおりの定例事業を行います。

☆会報「きずな」第51号(カラー印刷ページ入)を発行します。

☆インターネットに「石神井高校同窓会ホームページ」の開設を継続します。

☆総会終了後の懇親会を実施します。

☆第10回「東京校歌祭」に参加します。会員各位の多数参加を期待しています。

第4号議案 平成14年度会計予算案

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

収入の部	本年予算	備考
7. 繰越金	440,408	
イ. 入会金	1,424,370	新会員285名
ウ. 年会費	4,000,000	2,000名
エ. 雑収入	125,000	
収入合計	5,989,778	
支出の部	本年予算	備考
A. 総会費	700,000	総会・懇親会
B. 本部費	250,000	役員会等
C. 幹事会費	80,000	幹事会
D. 広報費	1,750,000	きずな編集印刷代
E. 発送費	1,900,000	きずな発送代
F. 行事費	230,000	校歌祭
G. 山荘費	600,000	黒菱山荘運営
H. 高校援助	150,000	部活動等表彰
I. 新会員	120,000	新卒業生入会祝い
J. 予備費	209,778	
支出合計	5,989,778	

平成十四年度総会のご案内

総会は6月15日(土)午後一時より

懇親会は午後三時より開催します。

当日、2000年度名簿の在庫と校歌CDを会場入り口で販売します。

名簿¥4,000 校歌CD¥1,000

6月15日に集まれ!

総会当日はこんな感じでやっています!

春になって、ゴールデンウィークが終わると、石神井高同窓会のシーズンです。同窓会総会と懇親会をセットで行うのが恒例になっていますが、新しい新同窓会員のみなさん、またしばらくぶりに訪れる会員の皆さんに、当日の段取りをご説明しましょう。

★ 6月15日の流れ

当日は、1年に1回の同窓会総会がまず開催されます。ここで、必要な議題を議決します。その後に懇親会が体育館となりの多目的室で開かれます。同窓会総会、懇親会だけの参加でもかまいませんし、当日校内で待ち合わせ、そのまま同期会に流れるグループもあり、特に決まった次第はありません。それが逆に、「同窓会同日に、なにをしているかわからない!」ということになっているようなので、写真を交えてご説明しましょう。

①当日の準備

懇親会パーティのお料理は、プロにお任せしているのですが、同窓会で準備することは少なくなりました。でも、各期の同窓会幹事のみなさんは、11時前に集合して、細かい準備にあたります。でも、あんまり大変な作業はありません。準備も楽しむのうちかも。



②同窓会総会

懇親会に先立って、公的な行事がこの同窓会総会です。同窓会主催のいろいろな行事の事業報告から始まり、予算を承認したり、役員を選任をしたり、いわば同窓会の最高議決機関なのですが、複雑な問題がなければ約1時間で終わるのが普通です。同窓会員は誰でも参加することができますので、積極的なご参加をお願いします。午後1時に本校2階の会議室で開かれます。



③懇親会

総会が終わったら、楽しい懇親会パーティです。フリードリンク・ケータリングサービス付きの立食形式パーティが、同窓会主催で行われます。このパーティの会費は1,000円です。いまだき、この会費で食事ができるのは驚異的ですね! 特にパーティで式次第があるわけではなく、自由に歓談するのがこのパーティの基本的スタイルです。なお、吹奏楽部08による校歌演奏があり、みんなで校歌を歌うのがクライマックスかもしれません。その後、記念写真を撮影してお開きになるのが恒例です。なお、この集合写真は1枚100円を会場でお支払いいただくと、ポストカードにしてお手元にお届けしています。



④お片づけ～お疲れさま

学校からお借りした会場は、普段は体育やクラブに使う練習場です。養生のためのシートを片づけは、最後のお仕事。これが結構大変です。参加者は、力を貸してくださいねー!



これで、同窓会主催の催しは終わり。日の暮れる頃、参加した同窓生は、同期会・打ち上げ・クラブ08会と、それぞれ第2ラウンドに散っていくのでした。おしまい。



同窓生 だより



メモの効用 (ポケ予防対策)

熊澤博久 (高二回)

「メモ狂」、「メモ魔」と呼ばれている人達がいる。何でもかんでも、人の話やその日の出来事、目に触れたことの中から、これかと思ふことに出会ったら、必ず書き(画)止めていく人種である。永い人生、その時々小さい知識の積み重ねが、将来思いもよらぬ力や夢を与えてくれることがあるという単純な理由からである。

井上ひさし氏と柳 美里氏の対談を読んでも、メモとしての「書き抜き帖」の有用性を指摘している。また石川 淳氏は「エッセイとは自分が読んだ本のこころに止まったって書く」ものだと言いきっている。この人達ほどではないにせよ、自分も大学生の頃より、また社会人になってからも仕事上のことで、学会発表や論文執筆のためサブノート作りに励んだ時期があった。

齢七十を過ぎたいま、時々「物忘れ」をし、一段と「物覚え」が悪くなったが、最近の医学知覚では、これは正確ではなく、ちゃんと「覚え」、また決して「忘れ」たりはしないで、それを記憶から「引き出す」能力が落ちてきているだけのことだという。

そこで、「引き出す」能力を元にもどす「ポケ予防対策」として、単に飯を食らふための箸を持つだけでなく、細かい指先の動作を必要とするペンを走らせ、そして更に前頭葉、特に右大脳半球を十二分に駆使させながら、石神井会報誌「きずな」に投稿せんがため、この拙文を書いた次第です。

君、服部君たちのお力により、同期会が定期的に開催され、懐かしい顔を見ることができるのは、とても楽しいことである。

そんななかで気になるのは、消息が不明の級友達の存在だ。一昨年の同窓会名簿を見ても、名簿にある同期生三百三十八名中物故者を除いても三人に一人が消息不明ということになっていく。まあよくも三分の二の住所がわかっているともいえるが、卒業以来一度も顔を見ていない旧友を懐かしく思う気持ちも強い。そこで生来の調べ物好きの血が騒ぎ、自分のクラスや仲の良かった友を中心に消息調べをした。

私の永年の小さい体験の積み重ねの結果が次の句集です。自画自賛しますと、分かり易く、きれいな句集ですよ。一読してみてください。

句集 「生命」、医師の句一〇〇選
著者 熊澤博久(高二回)
発行 平成十三年十一月十六日、
四六版、六十四頁
価格 九五〇円(税込み)
申込み先 電話・FAX
〇三(三三三六) 五〇四九
申込み方法 郵便番号、住所、氏名を明記して右記へ。送料は著者サービス。



同級生の住所を求めて

大阿久 靖男 (高校四回)

昭和二十七年卒業の我々高校四回生は、卒業後五十年の月日がたち、同期会に集まる級友達の顔にも、深い人生が刻まれているようだ。幸い、同窓会役員をされている川口君や、熱心に同期会の運営を引き受けてくれる間中

主な方法は、電話帳で氏名からの検索で、電話番号が分かたら電話をしてみるわけだ。また、昭和四十六年度の名簿が手元にあるので、ここに掲載されている当時の勤務先などに問い合わせるなどの方法もとった。

なかには、ご兄弟とたまたま縁があり、消息が判明した丹羽君の例もあった。

残念なことに、消息が判明したものの中で鬼籍に入られた友も多かったが、二十六名の消息不明者の住所が判明し、同窓会に通知することができた。

したがって同窓会のリストに加えられた彼らには、久方ぶりに同窓会誌が届くことと思われる。

なお本年の同期会の席上、同期の各務君が職務で作成した博多の航空写真を見せていただいたが、同時に我々の在学中の集合写真をコンピュータで処理してプリントをいただきたい。同窓会の板谷君により、この集合写真を同窓会のインターネットに掲載してもらった。学生の集合写真は、我々の卒業時の三年D組のもののみであるが、当時の恩師の集合写真は、後年名物教師となられた方々の若き日の姿をみるので、高校四回以外の同窓生諸君もご覧頂くことをお勧めしたい。

“ハイ元氣”

東 士先生

石神井高校には二十六年勤務したが、脳腫瘍術後の後半は、体育の指導はなく保険専門でした。入学早々の一年生に、「健康って何」と質問したら、「判ってるじゃん・何聞くのよ・今更」のふせい。そこで「長生きすること」と話すと、怪訝な顔して全く腑に落ちないの顔が返ってきた。

今日のように医学が進歩し、人々の健康意識が向上すると、二十年后、三十年後には、私の今の講義内容は……?と気がついた。老齢となり暇をもて余した時、授業では「あんなこと」話していたんだ、と回想することもあろうと、退職まぎわに、全講義を録音したテープ二十五巻(五十時間分)が手元にある。この「長生き話」は二巻目にあつた。聞いてみると、なんと下手な講義ヨ、それにしても当時の石神井生はよく我慢して聴いていたものヨ」とため息が出る。聞かえてくるのは、ききとりにくい私の講義と、黒板に板書するチヨークの音、たまに生徒の誰かがする咳はらいだけで静寂そのものである。石神井生の勤勉、真面目さが忍ばれる。今どき耳にする、荒れた教室・学級崩壊など微塵もない。教育委員とか、文教関係者にきいてもらいたくないだ。(尤もこのような生徒たちだったから、私も職責果たせたのかも。それとも下手な講義に居眠り:カモ。そんな生徒は今頃腰痛などといかれています。)やがて授業終了のベル(チャイム)が鳴り、続いて聞きなれた校内放送の音が流れると、今も石神井に勤務中かの錯覚を覚える。耳からの記憶って鮮烈だなあ……と驚いた。

講義は、健康には自律性・他律性の二面がある。生後間もない乳幼児は、自律面なく完全他律で、他から管理・保護されての健康で

ある。(他からの管理に落ち度がなければ健康なのである。)加齢とともに躰けられ、教育されて、漸次自律面が確立し、壮年は概して自律面が多いのだが、完全自律となることはない。(病気になるれば医者にかかる。)老年になれば、また管理され、擁護されることが多くなり、息をひきとる時は完全他律である。まちがいない健康教育を、落度のない健康管理があつてこそ、健康であり、長生きできるのだと言っている。

私も八十五才、他律面が増したとつくづく思うようになりました。他から保護され、管理されるたび有難いなアが実感です。このところ「先生！健康が一番です」と声をかけてくれる石神井卒業生が多い。六期の栗原孝君(サッカー部)は、「先生水が大切なんです。私の家が良い水があるからお持ちします。」と車で運んでくれます。八期の森田勝君は漢方で、十二期の城和裕君は「先生、百二十歳まで元気でいて下さい」と、玄米酵素(ハイゲンキ)を届けてくれました。その為か先月は、娘の同行で「此処も世界遺産」という説明を聞きながら、ブラハ・ウィーン・プタペストを廻ってきました。

健康は「長生きです」と教えた私が、今は教え子達からの管理の下、片目、片耳などと術後のハンディはあるものの「これでも生きられる」の満足感で、「ハイ元気です」と報告



●昨年の同窓会懇親会で●

告します。先日新聞紙上で「欲得なく、与えられた使命と地道に果たした日本人がいた」の記事を見つけ、納得するものがあり、爽やかな気分です。過ごしています。

メールマジック

睦(高三十回)

中村



私は仕事の関係もあつて、公私含めて考えると、八個の電子メールアドレスを持っています。さらに、新しく入手した、携帯電話のメールアドレスも加わることになりました。携帯電話は二五〇文字しか受信できず、それ以上の長いメールは切れてしまうという不便さがあります。

これらをなんとかうまくまとめることが出来ないか。知り合いと焼き鳥を食べながら話しているうちにアイデアが浮かび、趣味でプログラムを作り、ホームページを立ち上げました。

電子メールを魔法のように便利に使いたいな、という願いをこめて、MailMagicと名づけて、会員を募りました。会員は自分のアドレスを得て、そこに届いたメールを、曜日や時刻別に、会社のアドレス、家のパソコンのアドレス、というように切り分けて転送するようにしました。また、携帯メールは、二百五十文字づつ区切って、複数のメールに分けて全文を読めるように工夫しました。

公開直後は仲間内だけで便利に使っていたのですが、やがて口コミでどんどん広がって、いつのまにか数万人の会員を集めてしまいました。また、こういうホームページを集めた人気投票のサイトでは、一位ないし二位を頂くまでになりました。趣味で始めた

ページがここまで広がるのは、インターネットという現代の神器のなせるわざでしょうか。面白いものです。

やがて、雑誌類(インターネットマガジン、あちやら、週刊アスキー等)にも載るようになるし、日経MAG(2000年九月号)には写真入りで一ページの半分を割いて紹介されていて、びつくりしました。電子メールの入門解説の本にも出ています。

その後、私は本業のほうで忙しくなり、MailMagicのサイトは廃止になってしまいました。現在、類似のシステムがあつて、管理運営は別の会社がやっています。これは無料のままなので、利用してみてください。(http://www.tramonline.net/) また、携帯電話のAU社のコンテンツに採用されて、「DELI MAGIC」という名称で広くユーザに利用されているようです。

私が作ったプログラム部分もどこかで生きていると思います。

ユーザ数万ということは、当時のメール人口から考えるに、かなりの比率で、石神井の卒業生、現役の生徒の中にもきっとユーザが居たことと思います。

私は会社員ですので、会社で与えられた仕事をこなすだけですが、こうして自分で考えたものが形になって大きくなるのも、なかなか面白いものですね。

またユーザさんとの対応の中で、良い人も居る反面、そうでない人も、悪意を持ってシステムを攻撃してくる人も少なからず居ました。

最近話題の、有名なコンピュータウイルスを作った居る人もこの世界には居るわけですよ。匿名で行動する事もできるこのインターネットの世界は、人間の本質のようなものが、見え隠れする世界です。

今回の経験で、人の心の、本質、内面を覗き見たような感じがしています。

(denden.nakamura@it.ty.ne.jp)

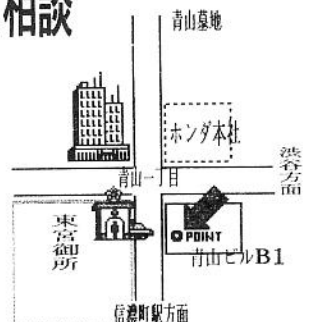
楽しいお集まりに 石神井倶楽部談話室を

☎0120-710-804 同期会・ケータリングのご相談

大江戸線0番出口際0分
OB特典ポイントカード有
無料駐車券サービス有

☎03-3403-3461 都内 8店直営
in あおしま 青山店 社長 城 和裕(12期生)

港区北青山1-2-3(青山ビルB1)地下鉄青山一丁目駅0番出口前 店長 小田由行(土日祭日貸切可)



同期会報告 ・お知らせ

昨年から今年にかけて開催された、同期会・クラス会の報告と、これから予定している会のお知らせです。お問い合わせは、それぞれの期の幹事の方へ、直接お願いします。

昭和二十七年高卒同期会開く

“桜前線、北海道に上陸”の便りのなか四月二十日（土）、同期会が新宿ホテル（センチュリーハイアット東京）で開かれた。まさしく卒業以来、半世紀、五十年目の記念すべき同期会だった。



出来て会は大変盛り上がった。会場良し、料理良し、酒良しそれに歓談スペースもあり出席者は満足しているようにみえた。霜解けの校庭でのコンコン野球、亡き恩師、旧友の話、そして健康の話、世相の話と話題は時に半世紀前、時に現世と飛びかっていた。濃縮された話題が一気に開花していた。黙々と酒を呑みながら静かに語っているテーブル、賑やかに爆笑しているテーブル。友の個性は昔も今も変わっていないかった。楽しかった会だっただけに幹事よりお聞き宣言をされた時は時間の経過に驚いた次第である。今回盛上げてくれた全参加者と推進者の関係者に対して心から感謝します。

十二期ゴルフ会還暦ツアー

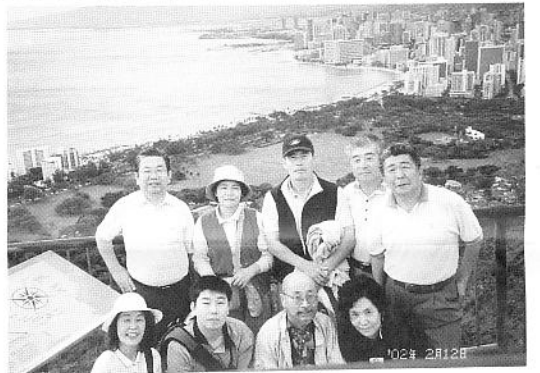
酒井美南子

懸案のハワイ還暦ゴルフツアーがついに実現！夫婦あり、親子ありの総勢二十一名でハワイに向けて出発しました。

“ニューエヴァーピーチC.C.”にて待望のゴルフ。青い空、心地よい風、緑のフェアウェイ、珍しい南国の鳥や花々、スコアはともかくハワイでのゴルフを満喫。休む間もなくダイヤモンドヘッドを走る様に登り、汗だくで頂上へ。ここから眺めたワイキキ海岸の景色は素晴らしく、懸命に登ってきた皆の疲れを忘れさせてくれました。その顔は還暦を迎えたとは思えない程若々しく、高校時代を彷彿とさせました。夜は居酒屋でにぎやかにコンペ表彰式。夜の更けるまでお酒を酌み交わしたのはいうまでもありません。

ゴルフ以外ではハワイ島、マウイ島と二手に別れて一日観光。マウイ島では砂糖キビ列車にガタゴト揺られ、美味しいアイスク

リームに舌づつみをうち、のんびりとした時間を楽しみました。ここで出会ったガイドさんは七十歳にもかかわらず週に五日はゴルフと、とても元気。私たちもまだまだとうれしくなりました。“名門ワイアラエC.C.”（ハワイオープン開催コース）ではチップインイーグルの青木功を気取ってティアップ。コバルトグリーンに輝く波打ち際に続くグリーン、これだけで今回のツアー大収穫。でもさすがにコースは手強いものでした。最後の夜はドレニアスアップ(?)してリムジンに乗り込み高級レストランでにぎやかに過ごしました。ゴルフ三昧の人あり、フラダンスなどポリネシア文化に触れた人あり、初めてお会いした奥様や、息子さんとも皆和気あいあいと何のこだわりもなく、昔からの友人のように楽しく過ごすことが出来、わが十二期生に感謝しています。帰りの機中ではもう次回の海外ツアーに夢を膨らませました。



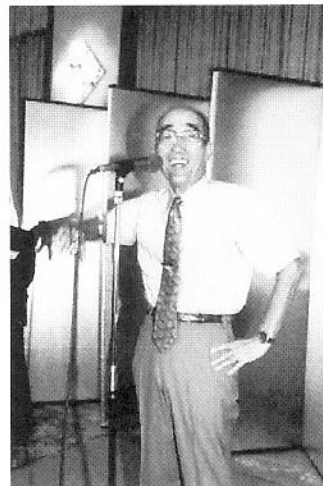
二十回生同期会に参加して

田中貴美夫（英語科）

音楽好きの方なら、ふとある時ずつと昔聞き慣れたメロディーを耳にして、突然



その頃の自分の身の回りにあった雰囲気や脳裏に蘇る経験をお持ちではないだろうか。例えば当時の友人のある独特の表情とか、よく通った商店街の風景や匂いとか、テントに泊まって迎えた朝の冷たい空気といったような、長いこと忘れていた何かを思いがけず肌で感じた気がしたりしませんか。私の場合も若かりし頃によく聴いた曲が私の意識を一挙に三十年も四十年も遡らせてくれることがあって、石神井高校にいた当時流行っていたドリス・デいの「アゲイン」や、曲名は忘れましたが沢田研二の「壁際に寝返り打って」で始まるメロディー、佐良直美がヒットさせた「ふたりのために」などを耳に



する度にあの頃の学校の様子が思い浮かびます。

そしてその「あの頃の学校の様子」のなんとも言えぬ懐かしさは皆さんにもきっと覚えがある筈です。二十回生がまだ紅顔の十五歳で入学した昭和四十年、A組からG組までの八クラスが入った教室は旧い木造校舎で、そのオンボロ振りがまた不思議に味のあるものでした。隣の教室との境の板壁を蹴破った腕白坊主もいたっけ。五月の体育祭では伝統の応援合戦の盛大さに心奪われながら、上級生からみっちり教えこまれたドジョウ掘いを、参観にきた親御さんたちも呆れるほど巧みに踊って見せたグループも幾つかありました。黒菱山荘という都立高校では類を見ないヒュッテを拠点とした夏の登山、冬と春のスキー教室等など、思い出せばきりが無い程です。あれは正しく学校紛争以前の、学生たちが青春を存分に満喫できた、学校というより学園と呼ぶに相応しい楽園だったと思います。石神井以外にも三校を経験した私の、これが偽らざる実感です。

去る一月二十六日に新宿厚生年金会館で開催された同期会は、代表幹事永沢清、勝見鈴代両氏はじめ幹事諸兄弟のご尽力の甲斐あって、いかにも楽園出身の諸君らしい心なごむ集いでした。参加させて頂いた旧職員(水谷英一郎、根上剛士、亀崎正夫、保母宗男、長島靖彦、田中貴美夫)を代表して心からお礼を申し上げます。

石神井高校十三回生同期会開催

昨年七月一日「十三回生同期会」を青山の「レストラン あおしま青山店」で開催しました。出席者は恩師を含めて六十名でした。

十三回生同期会は、

第一回 昭和五十六年五月十日

第二回 昭和六十一年五月二十五日

第三回 平成三年五月十九日

第四回 平成八年七月二十日

あおしま青山店で…

という具合で五年間隔で開催してきました

が、同期生の要望が多いため今後は毎年開催

することになりました。

本年は七月十三日(土)に昨年同様に「あ

おしま

青山店」

で開催

の予定

です。



黒崎 峻先生が平成十三年十二月十七日午前四時十九分、国立療養所東京病院にて肝機能不全のため逝去されました。享年七十四歳。

故人の遺志により通夜、告別式は執り行わず、納骨式のみ2月2日、京都・東本願寺大谷祖廟において行われました。

黒崎先生は昭和二十八年に物理の教師として当校に赴任され、昭和四十六年まで教鞭を取られました。

その間、山岳部の顧問をつとめられ、数多くの合宿や台湾などの海外遠征を指導するかわら、都立高校としては希有な存在である北アルプス八方尾根の黒菱山荘建設に尽力されました。

また同山荘における現役生徒のスキー教室、登山教室も黒崎先生の熱意ある指導により高校の山小屋としては例外的に高い標高、厳しい環境にありながら生徒の人気を集めていました。

石神井高校以後は、都立東大和高校教師、都立東村山高校教頭、都立王子工業高校校長、都立北多摩高校校長を歴任されました。

数多くの高校を歴任される間も、石神井高校山岳部の前顧問として黒菱山荘の運営やOB会活動に積極的に参加され、晩年まで数多くのOBと登山を楽しんでいらつしやいました。

また、多くの教え子の媒酌の労をとられ、

十九組の夫婦が先生の

媒酌で誕生

しました

が、その全

カップルが

離婚ゼロと

いう記録を

誇っています。



十九組の夫婦が先生の媒酌で誕生しました。その全カップルが離婚ゼロという記録を誇っています。合掌

同期会開催のお知らせ

高校第三回卒業(昭和二十六年)同期会のお知らせ

日時 十月二十六日(土) 正午から三時まで

場所 NHK青山荘(せいざんそう)

港区南青山五丁目二の二十

◎詳細は、郵便でご連絡します。

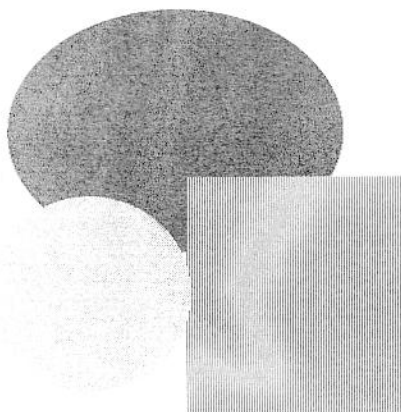
お問合せは幹事世話人(佐藤)まで。

電話〇四二四(二二)八六〇三

高校第四十二回卒業生同期会のお知らせ

具体的なことはまだ決まっておられません。いま予定していることは今年の十一月ごろに同期会を開催しようと考えているところです。

幹事は福岡克績と同期卒の門山康次です。◎詳細は、郵便でご連絡します。



現役生も がんばってます

当世現役高校生気質を手崎先生に聞く

母校石神井高校は創立以来六十二年目を迎えようとしているが、今年も二百八十名の卒業生が母校を巣立っていった。今の石神井生の進路希望や動静などを、進路担当で同窓生でもある手崎先生に伺った。

—今の石神井生の進路希望の特徴はいかがでしょうか？

基本的に四年生大学への進学希望が多く、これは以前から同じ傾向です。本年は二百八十五名中、現役で進学が百六名、浪人が百名で、七十%以上が四年制大学に進むか、目指して勉強中ということです。しかし、少子化や大学が増えたこと、短大の減少などから、



進路指導室で

時代にしたがって進路希望は変化してきています。

その中で、特徴的なのは女子の志望で、資格職を目指す傾向が強いと思います。保母、栄養士、看護師といった資格ですね。女子は短大数が減少して短大志望も減少しています。そのなかで幼児教育を志望する生徒が非常に多いです。本年の卒業生で、幼児教育に進んだ者が、大学および短大で十九名、専門学校が九名、女子の卒業生が百四十名ですから二割が幼児教育に進んだことになりました。資格志向が強いといった意味では、十五名が美容師を目指してそちらに進学しています。現在は専門学校の人気が高く、入学試験で落とす学校が増えています。専門的で競争率の高い専門学校を目指す人も多く、かつてのビジネス専門学校や語学専門学校はあまり人気がないようです。

以前は多かったのですが、音大や美大などの芸術系はほとんど進学者がいなくなりました。

—男子はいかがでしょうか？

女子に比べると、顕著な傾向はないように思えますが、同じように、「手堅い」進路を選ぶ傾向が強いですね。大学ではなく学部で進路を選ぶことが多いようです。意外なことに、石神井では農学部の人気が高いです。農学部といっても、現在はバイオテクノロジ分野を目指すことが多いと言っていますね。女子にも共通するのですが、教育学部をそれも体育系を目指す生徒が多いのが、クラブ活動が盛んな石神井の特徴ともいえます。教育学部を卒業して先生になり、クラブの顧問として積極的にスポーツに係わっていく、といったライフプランを希望している学生が多いというのも石神井ならではの知れませんが

ね。

—そのクラブ活動は、今の石神井では盛んと聞きますが？

クラブ活動は非常に盛んです。特に運動部が他校に比べて非常に盛んなのではないのでしょうか。クラブの加入率が八十%、その中で運動部が七十%ですから、半分以上が運動部に属していることになります。サッカー部などは、一年生で入部者が五十名近くになりました。また来る生徒も優秀な中学時代のキャプテン経験者が多く、入学した時点ですでに顔見知り、といったことも多いようです。バスケット部や柔道部、女子ではソフトボール部が昨年度に良い成績を残しています。

—文化部はいかがでしょう？

文化部が低調というわけではないのですが、兼部する生徒が多いので、人数は少ないです。その中で軽音楽部はとも頑張っていますね。珍しいクラブとしては、「フアッシュン部」があり、昨年は青森で開かれた「フアッシュン甲子園」に、東京代表として参加しました。

—昔ながらの新聞部とかはどうでしょう？

新聞部はなくなりましたね。人気がない分野は、入部希望者がなく、存続が難しいようです。

—最後に、手崎先生の現役のところと比べて、今の石神井生のイメージは？

卒業年度によって個性が違いますが、全体的にまじめで手堅い子が多いと思います。小さな問題がないわけではありませんが、歯

止めがかかっている状態です。そういった意味では昔のほうが、ずっと「悪かった」でしょうね。勉強もしましたけれど、パンカラな風も残っていて、もっとワールドでしたからね(笑)

—本日はありがとうございました。

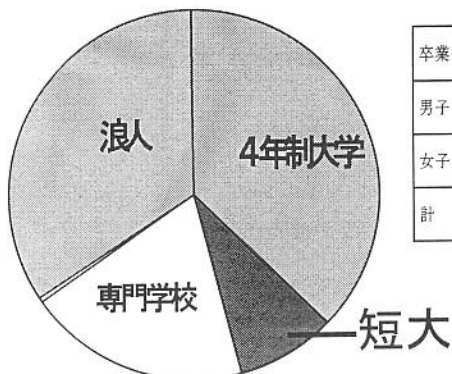
聞き手板倉

2002年卒業生の進路状況

卒業生	四年制大	短大	専門学校	公務員	就職	浪人等	合計
男子	63	0	15	2	0	67	147
女子	43	25	39	0	0	31	138
計	106	25	54	2	0	98	285

傾向として・・・

- * 合格者数は減少している
- * 浪人の人数が減っている
- * 少子化・不況などにより受験校数が減少



平成14年度卒業生の進路

大学名	現役	浪人	合計	玉川大学	3	3	白梅学園短期大学	4	4
国公立大学				多摩美術大学	1	1	杉野女子大学短期大学部	1	1
鹿屋体育大学	1	1		千葉工業大学	1	1	創価女子短期大学	1	1
私立大学				中央大学	1	2	玉川学園短期大学	1	1
青山学院大学		1	1	帝京大学	5	2	帝京短期大学	1	1
亜細亜大学	2		2	田園調布学園大学	1	1	東京成徳短期大学	1	1
桜美林大学	1		1	東海大学	3	1	東京農業大学短期大学部	2	2
喜悅大学		1	1	東京家政大学	3	3	文化女子大学短期大学部	1	1
学習院大学	1		1	東京経済大学	3	2	文京女子短期大学	2	2
関東学院大学		1	1	東京工科大学	1	1	武蔵野短期大学	1	1
北里大学		1	1	東京工芸大学	1	1	武蔵野女子大学短期大学部	2	2
共立女子大学		1	1	東京国際大学	1	2	山脇短期大学	1	1
杏林大学	2		2	東京女子体育大学	1	1	専門学校名		
国立音楽大学	1		1	東京造形大学		3	国立埼玉病院		
工学院大学	2	1	3	東京電機大学	4	1	付属看護学校	1	1
國學院大学		4	4	東京農業大学	2	4	東京都立北多摩		
国士館大学	5	2	7	東京薬科大学		1	看護専門学校	1	1
駒澤大学		1	1	東京理科大学		2	東京都立広尾		
駒澤女子大学	1		1	東洋大学	4	11	看護専門学校	1	1
実践女子大学	1	2	3	日本大学	11	15	看護専門学校	1	1
城西大学	1	1	2	日本女子体育大学	2	2	日本大学医学部付属		
十文字学園女子大学	2	2	4	日本体育大学	5	5	看護専門学校	1	1
淑徳大学	1	2	3	文教大学	1	1	朝霞准看護婦学校	1	1
順天堂大学		1	1	文京学院大学	2	1	城西医療技術専門学校	1	1
城西大学		2	2	法政大学		3	日本大学歯学部		
尚美学園大学		1	1	武蔵大学	6	4	附属歯科衛生専門学校	1	1
女子栄養大学	2		2	武蔵工業大学	1	1	淑徳文化専門学校	1	1
駿河台大学	2		2	武蔵野女子大学	1	1	彰栄保育福祉専門学校	6	6
成蹊大学	7		7	武蔵野美術大学		3	草苑保育専門学校		1
成城大学	1		1	明治大学		1	竹早教員養成所	1	1
清泉女子大学	1		1	明治学院大学	2	2	帝京大学		
専修大学	3	1	4	明星大学	4	1	福祉保育専門学校		11
洗足学園大学	1		1	酪農学園大学		1	日本児童教育専門学校	1	1
創価大学	1		1	立教大学	1	1	窪田理容美容専門学校	1	1
大正大学	3	1	4	立正大学	4	1	国際理容美容専門学校	4	4
大東文化大学	3		3	和光大学	2	1	第二国際文化		
高千穂大学	4		4	早稲田大学		3	理容美容専門学校	1	1
拓殖大学	1	1	2	短期大学			高山美容専門学校	1	1
				青山学院女子短期大学	7	7	日本美容専門学校	2	2
				秋草学園短期大学	1	1	真野美容専門学校	1	1
				大妻女子大学短期大学部	1	1	マリールイズ美容専門学校	1	1
				産能短期大学	1	1			

父母と教師の会アンケートから

4月20日に父母と教師の会のご協力を頂いたなかから、「父母からみた石神井高校のイメージ」と「父母が子どもに望んでいること」の項目の記入事項をご紹介します。

※石神井高校アンケート結果(13通)

●親から見た石神井高校のイメージ

- ・元気、部活が盛ん(2年男)
- ・明るく(?)、元気(2年男)
- ・スポーツが盛んで、生徒の自主性を大事にする学校(2年男)
- ・明るく、元気でのびのびしている(2年女)
- ・良く言えば自由闊達、悪く言うと少しルーズ(2年女)
- ・自由で明るい(3年男)
- ・明るく元気、健全な家庭の子供たち(3年男)
- ・勉強・スポーツが両立していて良い(3年男)
- ・のびのび自由で、快活(3年女)
- ・自由奔放(すぎる)(3年女)
- ・生徒のやりたい事をやらせてくれる
- ・のん気
- ・学校生活を心から楽しんでいる様子で、自主性を重んじる校風がとても良いと思う

●石神井生に今、望む事

- ・自分の学校を誇りに思って、このまま伸びて行って欲しい
- ・向上心
- ・集団の和、思いやり
- ・世の中の流れを見極め、自分の将来のため、いま何をすべきかを考えて欲しい(3年女)
- ・勉強に対しての姿勢(3年女)
- ・土曜日の活用を考えて欲しい(3年男)
- ・もっと勉強して欲しい(3年男)
- ・将来に向けての展望を描いて欲しい(3年男)
- ・世間の常識を守り、地元で愛される石神井生でいて欲しい(2年女)
- ・クラブ・学習ともに充実して欲しい(2年女)
- ・スポーツも勉強もしっかりやって欲しい(2年男)
- ・スポーツと勉学を頑張ること(2年男)
- ・自分の特性を把握できるよう、今の時期にやれることをやって欲しい(2年男)

http://www.shakujii-club.gr.jp のおすすめ 同窓会ホームページのご案内

石神井高校同窓会のホームページは、開設して5年目になります。それだけスタートは早かったのですが、「なあ～んだ、ちっとも変わっていないじゃないか！」の声もいただきます。表紙まわりは開設時と変わりませんが、その中身は進化を重ね、またとても役に立っている機能も備えています。また、最近は熟年層のインターネットユーザーも多いと聞きます。

ここでその機能を紹介しますので、まだ同窓会ホームページにいらしていない方は、ぜひ一度見てください。

* 表紙

今となっては古典的な、左側メニュー、右側コンテンツのオーソドックスなスタイル。実は時々、写真などが入れ替わっています。気が付いてました？



* Music 機能

賛否両論の音楽機能。バックグラウンドで校歌が流れます。もちろんスキップも可能です。



* 「あの人はどこ？」自動登録システム

同窓会の基本的機能がこれです。住所不明者の登録機能です。自分でも友人でも、住所不明者で連絡先を知っている場合、ここで登録します。データが登録されると自動的に不明者からリストが削除されるので、2重登録を防げるという優れモノです。



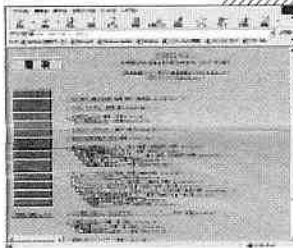
* 石神井高校周辺

デジカメによる、武蔵関ライブラリー。今回写真を入れ替えると共に、360度QTVRによるパノラマ表示がプラスされました。



* 校歌祭・体育祭ムービー

昨年度より、校歌祭のステージを収録したビデオを、Mpeg1形式で発信しています。直ぐそこまで来ているブロードバンド時代に即して、拡充を予定しています。



* BBS（掲示板システム）

地味な機能ですが、ネット本来の素晴らしい機能がこれ。期別やクラブ単位の掲示板もあり、だれでもボードを開設することができます。一度みてください！

* きずなバックナンバー

47号からDTP化された「きずな」のPDFファイルを準備中です。それ以前の号もイメージで掲載することを計画しています。

* Old Photography

現在試験的に、昭和27年卒業の方の卒業写真を掲載しています。古い写真をお持ちの方にご協力いただいて、掲載写真を増やしたいと思っておりますが、プライバシーや肖像権の問題に一抹の不安もあるので、現在メインページからリンクしておりません。同窓生の確認ページなどを設定して、本公開を行いたいと思っております。

試験ページ <http://www.shakujii-club.gr.jp/oldphotos/>
※各期の集合写真を集めたいと思っております。データをご提供ください。

昭和27年恩師写真の一部>



<http://www.gojyaku.com/>

「悟雀の部屋」 須藤泰史さん



(高校 20 回)

きずなでのご紹介、ありがとうございます。

ハンドル名「京屋悟雀」。団塊の世代。

子ども達も独立し、また夫婦二人の世界がやって来ました。

これから、二人でどう楽しむか。団塊の世代のパワーを発揮するのは今しかない。そんな気持ちで情報発信しています。



ネットでも活躍中!

自分のホームページで活躍する方々をご紹介しますコーナーです。

同窓会ホームページから、ここで紹介する方を含めて10名の方の個人ページを紹介しています。ご連絡いただければ、同窓生の個人ページをリンクいたします。

「エディおじさんの書斎」

田口重久さん (高校 19 回)



<http://www.asahi-net.or.jp/~rw7s-tgc/take/Oyazil.html>

ここは、96年から世界のあちこちに出張した時の記録が主です。インドネシア、イラン、ペルーなどの旅行記が主です。オバケの話や、その時々のエッセーも掲載しています。

「度欲おぢさんちのテラス」

<http://www.geocities.com/omdoyok/welcome.htm>

2000年からはじめたもので、インドネシア出張中に考えたことや、インドネシアの紹介である長編の「インドネシア不思議発見」を掲載しています。

また、度欲おぢさん(小生のこと)ファンクラブ通信である「おぢさんです、こんばんは」も公開中。インドネシアで感じたイスラム教に関する話題も掲載しています。

「度欲おぢさんちのバーチャルオフィス」

<http://isweb34.infoseek.co.jp/diary/omdoyok/omdoyok.html>

海外出張した時に見つけた珍しいもの、かわいいものなどを「パサール」に掲載しています。

田口at Jakarta 拝

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~mutenkap/>

「元祖：無添加パン」 廣瀬満雄 (高校 23 回)

近況ですが：

パン屋のオヤジなのに、ここの所一週間に一回はテレビに出ております。「怒りキャラ」として希有な存在なのだそうですが、もうそれも卒業し「パン道一直線」で頑張ろうと思っております。

私のパン作り、そして教え方は「ガントレ」の成果以外の何ものでもありません。無添加パン作りで一番肝心なのは「添加物の誘惑に勝つ」事です。その為には「己に勝つ」事です。

スーパーテレビ、せきらら白書、アングリーセブン、愛の貧乏脱出、で私は竹刀や麵棒を叩きつけていますが、それは私自身に「喝」を入れているのです。

食品業界全般が消費者の不信感を買っている昨今、今こそ故寺沢先生にお会いし、私の信念を問うてみたいと思っております。

石神井高校同窓生諸氏のご発展を祈りつつ。

廣瀬満雄 ####Dr. M Hirose(D. B. A.)

日々是決戦、咲かない花も咲かせます。

無添加パン工房 リストオル ミツ



『石神井倶楽部』からのお知らせ お問い合わせ Tel.03-3319-1121 留守録/FAX可

◎住所変更届…名前・旧姓・卒業年をはっきりとFAXで送ってください。

◎死亡届…ミスが許されないので、ご遺族の住所・電話もしっかり届けてください。

◎住所問合せ…原則として、青山の石神井倶楽部談話室で同窓会名簿を販売しておりますので購入してください。また各期の名簿を送ってくる方もありますが、変更の方の分だけの連絡にしてください。

◎校歌・応援歌のCDも1枚1000円で販売しております。

同期会開催予定…同窓会の活性化のためにも石神井倶楽部をご利用ください。特典としては

①同期会の場合は恩師の飲食代は原則無料としており、他にも各種特典があります。

②同期会の宛名シールの打ち出しは希望があれば同窓会が年一度は負担します。

③幹事さんの駐車は4時間まで無料。二次会も格安に承りますのでゆっくり会が開けます。

④同窓会幹事登録…各期中でまだ同窓会幹事が決まっていない期は、至急届けてください。

⑤黒菱山荘基金…基金の受付も行っています。石神井倶楽部ノートも用意してありますのでご利用の会員の方は記帳してください。

⑥皆さんのための健康講座を講師を招いて毎月1回、土曜日に『PPKの会』を開催中ですのでご希望の方は当方へお尋ねください。

◆郵送あて先 〒164-0002中野区上高田1-14-7(株)青島本部内石神井倶楽部

E-Mail: Jo-k@seitow-aoshima.co.jp <http://www.seitow-aoshima.co.jp>

スキー部合宿同行記

石井秀明(二十四回スキー同好会三期)

二〇〇一年春、次女が石神井に入学しました。そして、ひよんなことからスキー部の冬合宿に同行することになりました。

現在のスキー部には二年生が居らず三年生は受験生という状態で、一年生が部長や各役割を手探りでやっていると、部長は同窓生(旧姓西野さん十八期)のご子息です。

今回の計画は「懐かしいあの黒菱山荘での思い出を子供たちにも」と言う部長母の思いが強かったようでした。

しかし、スキー部と言っても参加者六人中、経験者は部長だけで他の五人はウエアしかないという状態!「いきなり初心者五人を連れて、黒菱のゲレンデはちよつと心配?」一泊目は麓のペンション「スカラ」に泊まり、山麓で十分足慣らしをしてから2日目に黒菱の斜面に挑戦することになりました。

結果的には、初日からスキーの指導員資格を持つ新田さん(二十七期)の応援を得ることができた上、初心者の生徒も普段のトレーニングの成果か?思いのほかの上達振り、昼食を山荘で食べることができました。二日目は、宿泊に必要な最低限の荷物を各自背負い朝一番で山荘へ。猛特訓の結果、全員リーゼンコースを転ばずに滑り、夜にはタイムツ滑走が出来るまでになりました。「今の若者は山荘のような古い施設は好まない」と高校の山荘利用が一八五年に廃止されて十六年になるようですが、その年に生まれた子供たちが、「聞いていたよりずっときれいで、山荘での生活はとても楽しかった!また来たい」と言ってくれたこと、トイレや台所がとてもきれいになった以外は、机の彫り物やモノクロの写真など私の記憶にある山荘とちよつとも変わっていません。それがとてもうれしく思

いました。また、今の若者たちにも僕らが感じた「山荘の良さ」が少しでも伝えられたことは、あえてこの場所で合宿をやった意義があったと思えました。現役生を仕切ってくれた五十三期OGの関根さん、スキー指導を手伝ってくれた二十七期の新田さん、食事の支度や小屋の使い方を教えてくれた?期山荘OGの浦川さんと子供さんたち?期山荘OBの阿部さん、早朝バスで着く高校生を迎え、山荘に行っている間の荷物の預かり、果ては、熱を出して寝込む子のお世話までしてくださった「スカラ」のオーナー石田夫妻(十六期・美和夫人二十二期)、本当にありがとうございました。

(二〇〇一年十二月二十五日夜行(二十八日)

合宿同行記

井上 和代 (高校十八期)

思いがけない?黒菱、久しぶりの黒菱でした。私のスキーの出発点でもある黒菱の石神井山荘へ、石神井高校1年の息子たちとスキー部の自主合宿につきあつての出来事でした。

出会いは、同学年の父母として石神井高校父母の会の運営委員会で、石井さんとお目にかかったことから始まりました。石井さんが「スキー部OB」ということで、現役の「スキー部」に力を貸してくださる話を実現したのです。一年生だけでは「合宿」をどうしたらよいか見当もつかないし、スキーの技術・知識も乏しく、当てるにできる部活動ができそうもなく、ひたすらロードを走るだけのスキー部に親としてはヤキモキしていたのです。

石井さんの指導は、初めから「カービングでいきます。」と子どもたちにも納得の内容でした。スキーに対する思い、ゲレンデでの

マナー、役割を仲間を支えあうこと...等、石神井OBとして後輩へ、目一杯のサーブス!黒菱の山荘ならでの生活、朝からリフトが止まってしまった後まで楽しめるゲレンデ、「朝」なるスキー、何もかもが楽しかった高校生たちです。部員たちの意識も「スキー」へ向かつて結束し、今は「新入生をスキー部へ」のアイデアの声があがるほどです。

石神井高校の部活動として黒菱山荘を活用することがほとんど不可能な今、スキー部OBのメンバー・山荘委員会のサポートで「現役スキー部」の冬合宿を八方尾根で挙げてきたことが、今後の活動に生かされていくことを願っている石神井同窓生の一親の私です。石井さんのレポートにも書いてありましたがこの合宿がたくさんの同窓生の応援で実現したことに感謝の気持ちでいっぱいです。

黒菱山荘がくないだ人の輪

曾田(川上)みふゆ(高校二〇回)

一九九九年同窓会主催第一回「黒菱山荘へ行こう」ツアーに参加してから、今年で四年目になります。高校時代、黒菱山荘以外は全く空白だった私に転機をもたらしてくれたのは、正にこのツアー参加でした。

年代を越えた石神井高校の同窓生達、でも一緒に山を歩き、星を見、寝食を共にするだけで、不思議な一体感が生まれてきます。

年一回の山歩きだけでは物足りない、と言うよりは、それ以上に皆さんにお会いしたい気持ちが強く、今では夏の山荘以外にも年に数回程山歩きを楽しむ様になりました。

昨年は伊豆ヶ岳から子の権現、九月には思いがけなく早い初雪の降った白馬三山縦走、そしてこの四月にも再度伊豆ヶ岳へ。帰途は、お決まりのコースで温泉へ。今年は、これから金時山、秋の涸沢を予定しています。

高校時代そんなにお話することもなかった同期の人達、それが今では「ちゃん」付けで呼び合う間柄に。きつと山荘に行かなければ、出逢うこともなかったでしょう、十、二十歳も年下の後輩達、逆につつと年上の先輩達。そんな人達が一同あの山荘の食堂に集まり、飲食を共にしながら歓談するひとときは、正に感動と呼ぶに相応しい場面です。自然のもたらす優しさ、温かさ、包容力...、黒菱山荘に感謝!です。

卒業生プラス伴侶、子供達を巻き込んだ山歩きは、もうどなたが卒業生だったのかも判らなくなるくらい、皆さん馴染んで、リーダーとなって下さいませ。

五十歳を過ぎて、今どの学生時代よりも一番つなりのあるのが、石神井高校の人達。三年前のツアーを機に、私の人生に広がり色彩が添えられました。何よりも豊かな贈り物です。

この夏、またどんな新たな出逢いが待っているのか、楽しみです。それでは、山荘で!

黒菱山荘基金

☆平成十一年度にスタートした黒菱山荘基金は四年目を迎えました。この基金からの拠出により、昨年度は山荘への簡易水洗トイレの設置を行い、本年度は屋根をはじめとする各部の補修を予定しております。今年「きずな」に黒菱山荘基金専用の振込用紙を同封し、より多くの同窓生諸氏のご寄付をお願いいたしました。景気低迷も長引く昨今ですが、母校の大切な資産である黒菱山荘の補修に対し、より一層のご協力をお願いいたします。

基金管理者 林 弘、城 和裕

郵便振替口座

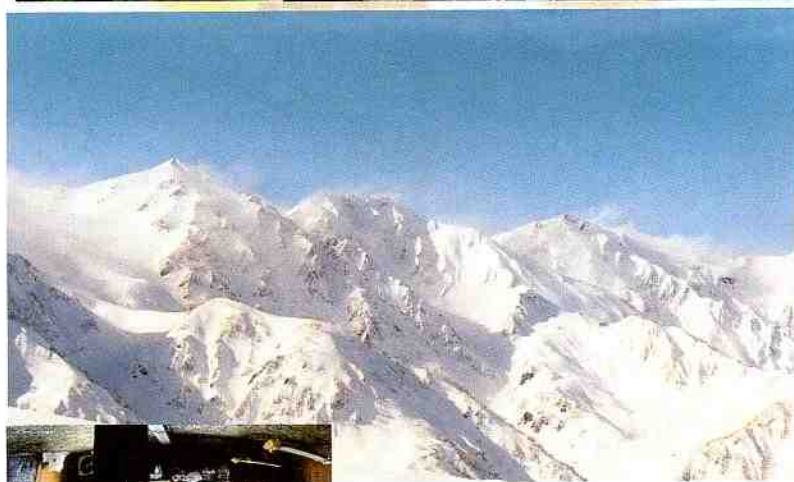
00150-3-129748 『黒菱山荘基金』

黒菱 PHOTO アルバム

2001年夏の同窓会主催の山荘ツアーでは、年代を越えた仲間が集まりました。同窓会では会長を始め役員もツアーに参加し、石神井ケルンへ登りました。さらに唐松岳登山チームは例年通り唐松岳山頂を目指しました。「父母と教師の会」の「星を見る会」も続いて開催され、夏の黒菱もしばしの賑わいを見せました。冬の黒菱は誰もが知っているスキーマのメッカですが、夏山のベースとしてもおおいに利用できます。今年も夏に山荘ツアーが企画されていますので、ご参加ください。また、冬はスキーマのベースとして利用できます。冬は山荘委員会のスタッフがいる時期が限られているので、お問い合わせください。詳細は裏表紙をご覧ください。



川上昭三氏(中学2回)のスケッチ



冬が本シーズンの黒菱山荘、今年はスキーマ部合宿にも利用しました。
写真提供：道家正昭(高21回) 高橋一夫(高20回)

★石神井高同窓会ツーリスト



夏山に、スキーに

黒菱へ行きましょう

★山荘の利用方法

山荘の管理は、黒菱山荘委員会が行っています。以下の利用
規程についてご理解の上ご利用ください。
利用資格 石神井高校生(ただし保護者の同伴が必要)・P.T
A会員・同窓会員・教員・その同伴者

宿泊費 学生 1000円
社会人 2000円
期間 基本的に制限をしていませんが、山荘に不慣れな方
は山荘管理者が入居している期間の入居をお勧めしま
す。夏休みはお盆休み前後、年末年始2月から3
月にかけては不定期です。

★利用申し込みの手順
①先ず大体の日程、人数等をお問い合わせ戴くことをお勧め
します。

※連絡問い合わせ先 【黒菱山荘委員会 03-3385-8996
(FAX 共) 泉水会】
当日の小風番の有無、申込み状況、山荘概況等をお伝え出来
ます。

②所定の申込み書にてお申し込み下さい。
正確にお書き下さい。特に卒業生・一般の区分、社会人・
学生の区分、宿泊日・日数等を明記下さい。

③申込みから1週間を目安に宿泊費を指定口座に入金して下さい。
入金が確認されないと現地での宿泊をお断りする場
合がありますので御注意下さい。振込用紙の控えは、当日山
荘で入居時に小風番が提示をお願いする場合があります。
で、大団に保管の上当日携帯して下さい。

【指定口座 郵便貯金 10130-5-5812331 都立石
神井高校黒菱山荘委員会 浦川一樹 一】

④申込書を受取りし入金を確認されますと、折り返し『山荘利
用しおり』をお送りします。FAX連絡が可能な方には
FAXで、その他の方には郵送で少なくとも入居1週間前
までに送付します。万一期日までにお手元に届いていない
場合は御連絡御確認下さい。

簡易水洗トイレ
つきました!
※お風呂ありません。
夏の温泉に行きましょう!

☆同窓会山荘ツアー2002

同窓会の後援を得て、本年も下記ツアーを企画いたしまし
たので、友人、家族連れ、ご夫婦、一人旅など
多数ご参加ください。

黒菱山荘の存在を体験し、白馬山麓を散策しましょう。
そして、山荘の今後を皆で考えてみませんか、山荘で
は素晴らしい風景を見ることもできますし、健脚の方
は、素晴らしい山をお楽しみください。

■出発日 7月20日(祝)～7月22日(月)2泊3日

■行程

1日目 東京(新宿)＝白馬駅(都合おせ)＝黒菱山荘

2日目 黒菱山荘＝第一カール登山(ケーブル別料金)
＝石神井ケルン・八方池＝唐松岳頂(健脚
のみ)＝黒菱山荘＝白馬村・ペンション

3日目 ペンションスカラ＝白馬村ジャンプ台・高山
植物園等散策＝帰京(夕刻)

■旅行費用

JRコース 30,000円程度(宿泊代別利用)

マイカー 17,000円程度(マイカーで現地)

■宿泊 / 黒菱山荘、ペンション(名称スカラの日経宮
各1泊)2泊3日6食付

■旅行条件

★山歩きは装備でご参加下さい。特に靴(はきなれ
たもの)、帽子、着替え、防寒、洗面具、常
備薬など

★山荘番在中は、掃除、食事作り、共同作業、団
体行動となりますので、ご理解とご協力をお願い
します。

★部屋割りはお任せ願います。

★会費には、個人的に消費するものは、含まれ
ておりません。

★集合場所、時刻、最終行程表などは、お申し込み
後、詳しくご案内します。

★学校行事が入った場合は、日程の1日目と2日目を換
えることがあります。

★お申し込みは6月20日まで(先着順とさせていただきます)

お申込み//お問合せ

176-0002 中野区桜台4-1-1-2 高橋一夫(高20回)

メール dennis@07@hotmail.com

FAX 03-3991-3586

★山荘委員会から

黒菱山荘に行くこんなことができるの知っていましたか?

清々爽のスキーはいつまでもありませんが、意外と知られていない黒菱山荘の利
用の仕方をご紹介します。雪のない時期(5月下旬から10月下旬まで)は、雑
草が伸び放題の山荘のホタル対応館で雑草を受け取ればいつでも利用いた
できます。

春は5月下旬より山花の黒菱山荘が満開になります。これで、駅からタク
シーで山荘まで行くことが可能になります。もちろん自家用車の利用もOKです。
下界の新緑のまぶしさは対した多くの雪が山荘の周りに残っています。融けつ
つある雪の間隙からはフキノトウが顔を覗かせています。でんぶら、フキ味噌など
で楽しめます。また、山荘の隣の水たまりでは水芭蕉も見られます。6月にはい
はる小風風の朝の雲も綺麗、今頃はカタクリの花が見頃になります。7月梅雨明
けが待ちどほしい季節ですが、連日好天に恵まれば、ぜひ八方原頂トレッキン
グに出かけてください。山荘の近くからリフトに乗って黒菱山荘へ、一面のニコ
ワキスグに目を奪われます。その先の一帯はツツジやアサギアザミに染まり、気分は
アルプス。下から見るとは一味違った山々の迫力をお楽しみください。春山の用意を
すれば八方池へ(往復約3時間)健脚の方は後立山の健脚の唐松岳へ(往復7
時間)挑戦できるでしょう。体調と天気によく相談してください。山荘より上
部は夏でも10度以下に下がる可能性があります。山荘から眺める山々の見事な紅葉
は感動です。紅葉が終わると山は一気に冬に入ります。山荘はいるだけで楽し
める、そんな場所です。

山荘は、雪が降り出す10月下旬までは開放しています。ぜひご利用ください。
水も、電気も、冷蔵庫も、トイレ(簡易水洗)も、布団(シェラフ)も完備です。
ただ、風呂だけは残念ながらありません。しかし、白馬村にはたくさんの温泉があり下界
光のついでに立ち寄っていただければ何の不都合もないはずです。存分に山荘生活をお
楽しみください。

山荘周辺だけでなく、少し足を伸ばせば、たくさんのお楽しみがあります。湯池
自然園・長野オリンピックで使用した白馬ジャンプ競技場・塩の道・黒部ダム等
定番の名所だけでなく穴場もたくさんあります。駅の出発地を出てすぐ左側に
観光案内所がありますので、それぞれ、八方原頂周辺の情報を仕入れて下さい。
きつとよい情報があるはずです。また申し込みのときに、私(泉水)にお尋ね
ください。何か情報があるかも知れません。

同窓会誌「きずな」第51号 平成14年5月発行
発行人 同窓会長 林 弘
発行所 都立石神井高校同窓会
東京都練馬区関町北4-32-48
Tel 03-3929-0831
印刷所 株式会社文明社 東京都新宿区榎町79番
Tel 03-3203-6617

今年の編集スタッフ

板谷方彦 (27回) 高橋一夫 (20回)
勝見鈴代(別所) (20回) 道家正昭 (21回)

ご連絡先 E-mail amjack@shakujii-club.gr.jp
また、石神井倶楽部
〒1640002 中野区上高田1-14-7 青島本内
Tel/fax 03-3319-1122
※高校にご連絡されると、担当が居りませんので、上記にご連絡ください。

「きずな」が届かない方へ
石神井高校同窓会誌「きずな」は、同窓生
全員に送付しております。しかし、転居など
で住所が変わる方も多く、毎年一割以上が住
所不明で戻ってきているのが現状です。一度
「きずな」が戻ってきてしまうと、自動的に送
付リストからはずしてしまいうシステムになっ
ているため、何かの手違いで郵送できな
い、翌年から「住所不明」になってしまうの
が現状です。同窓生で「きずな」がお手元
に届いていない方は、ぜひご連絡ください。ま
た、ごく一部で「きずな」の送付をやめて欲
しいとのご希望がありますが、会員を送付者
と非送付者に分けて管理するシステムがな
く、また本人の希望を確認するのに大変な労
力がかかります。ギリギリの人員とコストで
発送業務をしておりますので、その点のご了
解を頂きたく御理解をお願いいたします。